

おおもとウィメンズクリニックレター Vol.11 11周年記念版



11周年に際して

院長 大本裕之

2007年に「すべての女性のためのホームドクター」を基本理念として開院しました。以来、多くの皆様に助けられながら、昨年は開院十周年記念の会を行うことが、皆様の前で次の十年に向けて新たなスタートを切ることができました。ありがとうございました。産婦人科は従来、「産科学」「婦人科学」が基本でしたが、近年「生殖内分泌学」が加わり、日々進歩しています。さらに現在は小児期・思春期・性成熟期・更年期・老年期と連続したライフサイクルを対象とした「女性医学」が重要視されています。この女性医学はまさに開院以来心掛けていたもので、当院のような診療所にとって貢献できる産婦人科領域です。さらに職員一同、日々研鑽しながら医療の質を高め、患者様と向き合い、クリニックの理念を目指します。これからもよろしくお願い申し上げます。

主（あるじ）のいない診察室

副院長 大本佳恵

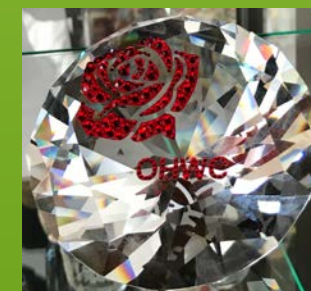
昨年はクリニック開院 10 年記念を、多くの素晴らしい方々にお祝いしていただき、まるで、燃え尽き症候群になるほどやり切った、その日は 2 月 12 日。ただそれからの記憶が……そうこうしているうちに体調不良が重なり、診療にも影響が出るようになり仕事も休みがちになり、院長、スタッフ、そして何より患者様に多大なるご心配、ご迷惑をおかけしてしまっ……でも、診療時間外に医事整理、総括など私しか今までしていない仕事をしている時、フッと見てみると、黙りこんでしまっている私の診察室……主のいない、静寂だけの診察室……もうこれ以上悪いことはないだろう、と毎年このレターを書く度に思っているのに、とどめの年末の怪我……まだまだこの負のスパイラルは続くかな？……そう思える今はもう怖いものはない！ 主がいつもの席に座れる日はもうすぐです…… あともう少しだけ、時間をください

10周年記念品の会



おおもとウィメンズクリニック 10周年記念 平成29年2月12日 於 都春日

ばら花壇コンクール最優秀賞 受賞



10周年記念オーナメント



スタンダード傘仕立て



〒720-0832 福山市水呑町 4447

TEL: 084-920-5155

<http://ohwc.jp>

2017年度 クリニックのデータ

2017年は新規登録患者様 872人、11127人の患者様に来院いただきました。新規登録患者様数は昨年と比べて減少していますが、例年同様に受診理由の多くは“ロコミ”でした。クリニックネットワークが定着して、当院がこの地域に認められてきたことを嬉しく思います。子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍など良性疾患の多くは倉敷成人病センター様の腹腔鏡下手術により患者様のQOLを保ちながら治療がなされました。悪性疾患は福山医療センター、福山市民病院、中国中央病院、倉敷成人病センター様などと病診連携をはかり子宮頸部高度異形成および上皮内癌18名、浸潤子宮頸がん1名、子宮体がん3名の患者さまが適切な医療を受けることが出来ました。婦人科検診希望の増加が癌発見数の増加に関連しています。不妊症に対しては患者様が増加しており、子宮卵管造影検査を35名に行い、排卵誘発、タイミング法、人工授精までしか扱っていませんが、ストレスが大きくなるような診療に配慮しています。高度生殖補助医療は倉敷成人病センター様などと連携を図り、よい成績を収めています。LEP製剤（低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬：月経困難症治療薬およびピル）は月平均330シート処方昨年より増加しています。他の選択肢としてディナゲスト処方、ミレーナ挿入も増加し、多くの女性の生活改善に役立っています。血栓症に対しては厚生労働省、学会の注意に従って適正使用を行い、下肢静脈エコーの充実と院内で末梢血、d-dimer測定が可能です。代替医療としてのアロマセラピー・エステは現在休止しています。



スタッフより

看護師

昨年は10周年という大きな節目を無事終えることができ、11周年が始まりました。私は毎朝通勤時に海を見て深呼吸をします。今日も一日成すべきことがやり遂げられますように。帰りの深呼吸は1日の感謝の気持ちを込めて。これは自身にとってプラスととらえ、今年も継続して感謝の気持ちを忘れず、患者様に接していこうと思っています。

看護師

今年の私のテーマは『気配り・目配り・心配り』です。なんとなくハードルが高いと感じてしまう婦人科受診。それは内診台ですよね。内診されることが得意な人はいません。その不安を少しでも軽減できるように患者様の気持ちにより添い、『このクリニックに受診してよかった』とだけいっていただけるような看護を目指します。

看護師

新しい年になると、クリニックもすぐに2月5日の開院記念日を迎えます。昨年を振り返りますと、患者様への対応は適切であったか、思うことはいろいろあります。昨年の反省を忘れず、本年もクリニックの理念である『すべての女性のためのホームドクター』を念頭におき、スタッフの一員として頑張ります。

医療事務

昨年は診療の変更などで患者様に急ぎよ電話をかける機会が多く、大変迷惑をおかけしました。が、その度に患者様から温かいお言葉をいただき、幾度も励まされました。本当にありがとうございました。そのお言葉を何倍にもしてお返しできたらいいなと思います。

医療事務

自分の対応で患者様の不安なお気持ちを少しでも安心に変えられるように。今まで以上に親身になって患者様の気持ちにより添った対応を心がけてまいります。不安なことがございましたら、いつでもお声がけください。